

ほけんだより

令和6年3月
大山崎中学校
1年生 臨時号
保健室 No.11-3

「生と性の学習」についてご講演頂きました「助産師の柳瀬美耶先生」より、皆さんからの質問などに関わって、お手紙が届きました。

紙面の都合上、抜粋して一部を紹介します。

質問やその回答内容によっては、個別に伝えた方が良いと思われるものもありました。どんな回答があったか気になる人は、保健室の先生に声をかけてください。

大山崎中1年生の皆さんへ

先日はありがとうございました。

とても熱心に聞いてくださり嬉しかったです。最後の方が少し早口になってしまってすみませんでした。みなさん各々に内容を理解し受け取ってくださったことが感想文を読んで伝わりました。また、

「お体大事にしてください」「元気な赤ちゃん産んでください」といった私への温かいお言葉も沢山いただきました。中学校1年生とは思えないご配慮をいただき感謝しております。

あれから、赤ちゃんも大きくなり、今は12週、鶏の卵ぐらいの大きさになりました。手も足もできて、元気に動いている様子がエコー検査で確認できました。

このまま無事に出産を迎えられるように頑張ります。ありがとうございます。

以下、いくつかいただいたご質問にお答えします。



① 今まで助産師をしていて一番達成感があったのはどんなことですか？

⇒私は性教育がしたくて助産師になったので、初めて母校で性教育講演をさせていただいた時に夢が叶って嬉しかったです。

② どうやって自分の体と向き合っていけばいいですか？

⇒難しい質問ですね。私にも正解はわかりませんが、まずは知る、そして考えることなのかなと思います。知らないことは向き合えないと思うので、自分の体がどんな状況にあるのか、注意深くみて感じてください。例えば、何を食べたいと体は言っているのか、疲れているサインが出ていないか、体が欲していることは何か、そんなことに注意を向けるだけで、自分の体のことがどんどん好きになるかもしれません。自分の体と向き合うことに興味を持ってくださることは素晴らしいことだと思うので、向き合おうとし続けてください。

柳瀬 美耶

大切な生命。幸せに安全に健康に生きてほしいと願っています。これからも一緒に正しい知識を学んでいけたら嬉しいです。生や性について心配なこと、気になることがあれば、保健室でお話ししませんか。